

9月定例会 代表質問

立 真 会

坂本公明
井口和光
原田てつよ

議員 最近の経済情勢と国の財政事情の中で、平成23年度の本市の財政見通しについてたずねる。

市長 現段階では收支のバランスは何か確保できる見通しとなっている。歳入については、市税収入や地方交付税など主な一般財源は前年度実績を下回るが、当初予算で減収に見合った

財政について

議員 市民の命を守る病院として耐震化への対応が求められている。多くの市民が市民病院の存続とさらなる機能アップに切なる期待を寄せており、市民病院の将来構想をどのように考えているのか。

市長 平成23年度に、将来的な病院の機能・規模等の病院整備に関する基礎調査・分析を行い、病院基本構想を取りまとめることにしている。この中で、建物の整備についても検討する。この基本構想を基に、市民の代表や有識者等で組織する「市民病院のあり方に関する懇談会」でさらなる意見集約を行い、今後の市民病院のあり方について検討していきたいと考えている。

議員 東日本大震災に学ぶ教訓についてたずねる。

市長 大震災そのものから

議員 本市の障がい福祉施設は、障がい者福祉計画及び障がい福祉計画に基づき、他の自治体に先駆けてさま

歳出の予算計上としていること、また、歳出では復興支援経費のほかには、想定以上の経費が発生していくためである。

市民病院について

議員 時間の短縮★教育について質問しました。



議員 市民の命を守る病院として耐震化への対応が求められている。多くの市民が市民病院の存続とさらなる機能アップに切なる期待を寄せている中で、市民病院の将来構想をどのように考えているのか。

市長 平成23年度に、将来的な病院の機能・規模等の病院整備に関する基礎調査・分析を行い、病院基本構想を取りまとめることにしている。この中で、建物の整備についても検討する。この基本構想を基に、市民の代表や有識者等で組織する「市民病院のあり方に関する懇談会」でさらなる意見集約を行い、今後の市民病院のあり方について検討していきたいと考えている。

議員 これまでの教訓として、想定外を想定内にすることの大切さ、災害に対する意識を持ち続

けることの重要性、地域の絆の大切さを感じている。大震災後の支援を通じての教訓として、基礎自治体としての役割の重要性と責任の大切さ、民間力との連携の大切さを感じている。

市民病院



きました。その2つの計画が、平成23年度で終了するため、新たな計画を策定している。具体的にどのような基本的な考え方と方向性を示して策定しようとしているのか。

市長 障がいのある方やその家族の意見・要望を最大限取り入れ、それを実現するための計画にしたいと思つては、被害の想定や避難所の見直し、地域防災計画の見直しをはじめ、出前講座の開催や地域での防災訓練の実施、子どもたちへの防災教育・防災訓練を行うことが大切であると考えています。また、基礎自治体としての能力向上に努め、他の自治体・関係機関・民間との連携強化を進めるなどの取り組みをより一層進めていきたいと考えています。

議員 ほかに★選挙における投票時間の短縮★教育について質問しました。